

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 27 年度教育研究報告書

事業課題名	学生交流及び欧州コーポラティズム現状調査のためのドイツ派遣
代表者名	徳丸夏歌
事業概要 (600 字程度)	<p>京都大学経済学部／大学院経済学研究科との部局間交流協定校であるゲーテ大学経済学部／大学院経済学研究科を訪問し、Cornelia Storz 教授の講義を表敬聴講し、同教授、Markus Heckel 博士らと今後の学生交換交流の可能性等について協議する。同じく部局間交流協定校であるハイデルベルグ大学アジア・ヨーロッパクラスターを訪問して共同学生セミナーを開催し、学生間交流および参加学生の国際的な情報発信力の育成を図り、また Steve Iving 博士らと今後の交流について協議する。またカッセルの環境企業である SMA Solar Technology AG やヘッセン州経済産業省、ドイツ金属労働組合 IGMetall、フランクフルト証券取引所、ベンツ博物館等の訪問・見学・インタビューを行い、欧州コーポラティズムの代表的な存在であるドイツの社会経済事情についての理解を深め、各団体の経済、移民、労働、環境問題への取り組みの現状を視察する。またアポイントメント交渉や質問票作成から学生に参加させることにより、海外調査の経験を積ませ、実践的なグローバル人材の育成に貢献する。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>12 月 1 日はフランクフルト証券取引所を訪問し、担当者から同取引所の歴史や規模、概要についてレクチャーを受けた後、取引の現場を視察することができた。12 月 2 日はゲーテ大学を表敬訪問し、Storz 教授の制度と技術進化についての講義を聴講した後、同大学の教員スタッフ、学生と昼食を共にし、今後の国際交流について議論し、また交流を行った。12 月 3 日はドイツ金属労組 IGMetall を訪問し、専属エコノミストである Martin Kraemer 氏へのインタビュー調査と IGMetall の施設見学を行い、EU 貿易や移民問題と IGMetall の取り組みについて理解を深めることができた。12 月 4 日にはハイデルベルグ大学アジア・ヨーロッパクラスターを訪問し、学生共同セミナーを開催し、京大側／ハイデルベルグ大側共に充実した発表内容で活発な議論を行うことができた。また Steven Iving 博士と国際交流について意見交換した後、京都大学ハイデルベルグオフィスを表敬訪問し、同大学との国際交流の現状について視察することができた。12 月 5 日はハイデルベルグ大学図書館及び学生寮、ベンツ博物館を見学し、12 月 6 日はフランクフルトに移動した。12 月 7 日はヘッセン州の経済環境省を訪問し、同省で再生可能エネルギー問題を担当する Friedrich Hanisch 博士らへのインタビュー調査を行い、2050 年までに再生可能エネルギー100%を目指すヘッセン州の取り組みについて、行政の立場から理解を深めることができた。12 月 8 日はカッセルの環境系企業である SMA Solar Technology AG を訪問し、Mike Meinhardt 教授、Peter Hennings 氏らに同社の歴史（大学発ベンチャー企業として出発、発展）、環境関連製品（太陽光発電を用いた自家発電システムの構築）に関するレクチャーを受けた後、同社の工場を見学し、再生可能エネルギー先進国であるドイツの環境における技術革新について見聞を広めることができた。本派遣プログラムにより、参加者はドイツにおける民間-行政レベルの協同的な経済政策、環境、産業、労働、移民問題への取り組みの現状に関する知見を深めることができた。またゲーテ大学、ハイデルベルグ大学との間で学生-教員の両レベルにおいて密度の濃い交流を行い、今後の学生交流について話し合うことができ、総じて実り多い派遣であったといえる。</p>